

ファーストペンギン通信

第7号
2025年7月28日(月)
発行人
八王子実践中学校
教頭 石川 敦史

上級学校訪問①拓殖大学

八王子実践高等学校の総合進学コースの2、3年生は「高大専連携講座」として、拓殖大学、東京工科大学・日本工学院八王子専門学校、看護医療総合予備校（ena看護）の授業を受けています。

令和7年7月5日（土）、高校の総合進学コース1年生とともに、中学3年生が上級学校訪問として、拓殖大学八王子国際キャンパスを訪れました。

キャンパス見学

最後はキャンパス見学です。連携授業がおこなわれている講義室や学生食堂、図書館を案内していただきました。



大学紹介

拓殖大学常務理事の井上康信先生より開会のご挨拶をいただいたあとに、「拓殖大学の歴史」についてDVDで学びました。

拓殖大学は1900年に国際的な人材育成のために生まれた国際大学のパイオニアで、今年で創立125年を迎えます。訪問した八王子国際キャンパスには外国学部・国際学部・工学部と今年度から開設された政経学部の社会安全学科があります。さまざまな国・地域から1000名を超える留学生が学んでおり、日本人学生との国内国際交流が活発におこなわれています。

模擬講座

続いて工学部の小島和枝先生による模擬講座「英語を楽しく学ぼう！Let's have fun learning English!」を受講しました。英語で説明された動画を見て、パートごとにどのようなことを言っているのかわかった人が挙手して発表していきました。



200名以上いた高校生もなかなか手を挙げる人がいないなかで、小島先生の「一番積極的に発言した人には豪華な景品を用意しています。」という言葉に反応した中学生が先陣を切って手を挙げ、堂々と発言しました。

中学生の要点を簡潔にわかりやすくまとめられた発言に触発され、そのあとは高校生も積極的に発言をしていました。最後は高校生と中学生で最も意欲的に参加した生徒として1名ずつが選ばれ、見事じゃんけんで勝利した中学生が豪華景品を手に入れました。



キャリアパスポートより

○目標は？

- ・大学の雰囲気を知る。将来について考えるきっかけにする。
- ・自分の大学生の未来を想像して、中学生との違いや大学の雰囲気を感じる。

○心に残っていることは？

- ・講義室や図書館を見ることで、大学は自分の世界や視野を広げる場所だと感じた。
- ・普段と違う英語の授業で、英語ができるとどんなメリットがあるのかを知れたこと。

○今回の体験・経験を踏まえて、今後に生かしていきたいことは？

- ・自分の将来のことももっと深く考えて、しっかり準備していきたい。英語の模擬授業では知っている単語も多かったが、その場ですぐに訳すことはできなかったのが、すぐに訳すことができるように練習したい。
- ・これからの自分の進路についてもっと深く考えることができた。やりたいことが大学でできることがいいなと思った。
- ・大学という自分にとってそう遠くない場所が、どのような様子で、どのようなことを学んでいるのかを知れたので、今後はそれを踏まえて将来像を描いていきたい。
- ・高校生やたくさんの大人の前で発表できる度胸がほしいと思った。結局、大人になって必要な力は生きる力だと思うから、この世界を生き抜くために社会でうまくやっていける大人になりたい。